

「看護職員の新型コロナウイルス感染症に関する実態調査」概要

【調査の目的】

この度の新型コロナウイルス感染症発生にあたり、看護職員の対応や労働環境等に関する実態を把握します。調査結果は、感染症発生時の看護体制のあり方、本会からの適切な情報提供・支援のあり方等を検討する資料として活用します。

【実施期間】

9月8日(火)～22日(火)

【調査方法】

web 調査

【調査対象】

- ①全国の病院の看護管理者：8,257名
- ②全国の介護老人保健施設、介護老人福祉施設の看護管理(代表)者：12,417名
- ③全国の訪問看護ステーションの所長：10,410名
- ④全ての感染管理認定看護師及び感染症看護専門看護師：2,929名
- ⑤感染領域以外の全ての認定看護師・専門看護師：20,271名
- ⑥47都道府県看護協会会長
- ⑦本会や都道府県看護協会からの復職呼びかけに応じて就業していただいた看護職員(8月18日時点)：約1,000名
- ⑧全国の看護職員(個人)：就業中・離職中、会員・非会員を問わない

【回答方法】

公益社団法人 日本看護協会ホームページ「看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査 専用ページ」へアクセスしてください。

※看護管理者の皆様(①～③)、都道府県看護協会会長の皆様(⑥)につきましては、別途郵送にてお知らせいたします。